



ガバナーメッセージ 職業奉仕月間

国際ロータリー
第2660地区 ガバナー

立野 純三
(大阪RC)



職業奉仕はロータリアンが各自の職業を通じて社会に対し最良の奉仕をすることだと考えます。

ロータリーのある小冊子に「ロータリーの目的は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成することにある。ロータリークラブは実業家及び専門職業人のクラブです。仕事のない人は会員になれない建前です。どんな職業でも仕事でも、たいがい他人の役に立っています。他人の役に立たないようなものは有益な職業ではありません。」と書かれていました。

私は実業家です。自分が経営する事業が発展する事や安定するために日々社員と共に努力をしています。ただ常に日頃の仕事において「自分の行動が真実であるかどうか」「公正であるかどうか」「関係者との間に好意と友情を深めているかどうか」「関係者や協力者の為になるかどうか」、ロータリーの「四つのテスト」を常に照らし合せながら、また「すべての人からせられんと思うことをその人にせよ」という黄金律

の思想を基礎に働いているかと問われると、非常に難しいと答えざるを得ないと思います。

ただ、自社製品を使用していただく事によって満足を感じてもらうことで社会に貢献が来ているのではないかと考えています。

最近では耐震データ偽装、排ガスデータ偽装、粉飾決算、杭工事データ流用等、企業の存続に関わるような数多くの不祥事が多発し新聞紙上等を賑わせています。この様な時代にこそロータリーの奉仕の精神が求められているのではないかと思います。

職業上の倫理基準、私達各々の職業を高潔なものとするロータリアンは自らの職業に誇りを持ち、社会に貢献していく精神をもって活動する必要があるのではないかと考えます。

そして、私達ロータリアンは、地道に地域に根差した職業奉仕を行い、若い人達に仕事へ関心をもってもらうことや仕事を通じて、どのような地域貢献をしていくのかを指導することも大きな役目だと考えます。